

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ガーデンホテル京都四条増築工事	階数	地上10F
建設地	京都市下京区西洞院四条下る妙伝寺町713他	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	203 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 0.0	評価の実施日	2018年6月22日
敷地面積	2,301.11 m <sup>2</sup>	作成者	松本 圭司
建築面積	400.97 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月30日
延床面積	2,600.11 m <sup>2</sup>	確認者	金谷 明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 71%  
 ③上記+②以外の 70%  
 ④上記+ 70%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	景観条例における旧市街地型美観地区における町並みに配慮した外観意匠。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮の断熱性能に配慮し、複層ガラスを使用。特定建材は全てF☆☆☆☆を使用。	内装計画においてモックアップやインテリアパースにより内装計画の事前検討を実施。	道路・隣地境界から十分な距離を取り、通風や採光等に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光エネルギーの利用。	節水型便器の採用。	サービス動線の分離。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される